

令和3年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第九峡田小学校

【評価】成果指標の達成度から評定（A・B・C）を決める A：達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)	予算及び決算	成果及び次年度の方向性	評価
教員の授業力向上	<p>【内容】プログラミング的思考を育成するための授業づくりを推進し、教員の授業力の向上を図る。そのために専門講師に依頼し、指導を受け全学級担任が研究授業を実施する。</p> <p>【目標】授業後の児童へのアンケート調査により、プログラミング学習への児童の取り組みの変容を見取る。児童の学習が好きと答える割合を80%を目標とする。講師からは授業者の課題を明確に指導を受け、その結果を含め成果と課題をまとめ、次年度の活動へとつなげていく。</p>	<p>【予算】</p> <p>【決算】</p>		
言語力の向上	<p>【内容】全児童が漢字検定を受検し、言語能力を向上させるとともに、達成感を持たせる。</p> <p>【目標】全児童の合格率 8割</p>	<p>【予算】</p> <p>【決算】</p>		
自学自習の習慣化	<p>【内容】荒川スマートスタディやその他のデジタルコンテンツを活用して、授業及び家庭学習での積極的な活用をとおして、自学自習の習慣化を図る。</p> <p>【目標】授業中の活動は一日一回以上を目標とする。家庭への持ち帰りは、必要に応じて課題を明確に持たせ、達成感が持てるように取り組みさせる。課題を自ら設定した自学自習でのタブレットPCを活用できる児童の目標を70%以上とする。</p>	<p>【予算】</p> <p>【決算】</p>		
あらかわ寺子屋	<p>【内容】個別の補充学習を実施することによって、わかる、できるを実感する中で、自信をもって学習に取り組み、意欲を高められるようにする。また、自ら課題をもって取り組む中で、学習の習慣化を図り、家庭学習での取り組み忘れを減少させる。</p> <p>【目標】学期ごとに参加児童からアンケートをとり、自学への取り組み状況を把握する。また、家庭学習の実施率を各学級でとり、学習習慣の定着状況を高めていき、学期末に家庭学習の定着者90%を越す。</p>	<p>【予算執行はあらかじめ寺子屋事業による】</p>		